



Step by Step ~詫間の主役はわたしたち~

本日、全校集会で、今年度の生徒会スローガンが発表されました。新しいスローガンは、「**Step by Step** ~詫間の主役はわたしたち~」です。このスローガンには、「生徒全員が一步一步着実に前進し、詫間中学校だけでなく詫間全体を盛り上げることでできる集団になろう!」という思いが込められています。全校生徒一人一人が輝く日々をともにつくっていきましょうではありませんか。



●部活動紹介(4/10)



1年生を前に、各部の部長がパワーあふれる部活動紹介を行いました。アクションを交えながら熱く語りかける姿から、部を大切に思う気持ちや部活動を今よりもさらに盛り上げていきたいという思いが伝わってきました。16日(火)から18日(木)までの3日間、実際に部活動を体験するなかでじっくりと考え、悔いのない選択をしてください。19日(金)に入部届を提出し、22日(月)からいよいよ1年生の部活動が本格的にスタートします。

●交通教室(4/11)



三豊警察署の講師の方や交通指導員の福岡さんを招き、安全な自転車走行の大切さについて学びました。近年自転車事故が多発するなかで、自転車の運転者が事故の加害者になる事例も多く見られます。事故を起こしてしまった場合は、負傷者の救護をするとともに、警察に通報しなければなりません。加害の程度によっては数千万円の賠償金を支払うこともあると教えてもらいました。その後、学校周辺を自転車で走行し、横断歩道や交差点などでご指導いただきました。

復興を目指す人々から学ぶ

3年前の4月14日から16日の3日間、熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生し、273人の尊い命が失われました。3年経った今も、約1万6,500人の方が仮設住宅で不自由な生活を強いられています。昨日のテレビで、今も復興に力を尽くしている熊本市長大西一史氏が次のように語りました。

「熊本市が震災に備えて準備していた水や食べ物は20万食。でも地震発生直後は道がぐちゃぐちゃで届けられなかった。そこから学んで、今は40万食を常備し、スーパーやコンビニと連携して近くに住む市民に届けられるようにしている。震災前、熊本市民個人の飲料水や食料の備蓄率はわずか3割。でも、今は8割を超える市民が3日~5日分の水と食料を蓄えている。3日~5日は、自分が震災で困ったと実感した時間。体験から学んだ。やはり自分の身は自分で守る、自力でなんとかするという考えが大事。」

「人は経験して初めて多くのことを学ぶ」とよく言われます。しかし、災害については、できれば被災してからではなく、震災に遭われた方々の体験から学び、備えを万全にしておきたいものです。